

発表者名：前田 利郎

所 属：京都きづ川病院 消化器内科

抄録タイトル：京都きづ川病院における高山病に対するダイアモックス®予防投与の現況

#### 【序文】

当院は京都の一地方都市で人口約 8 万人の城陽市に位置する、総病床数 300 床あまりの中型病院である。トラベルクリニックは標榜していないが、本学会のホームページを頼りに旅行相談に訪れる方が年間数名いる。その中で高山病予防としてのダイアモックスを希望して受診される方について調べてみた。

#### 【内容】

2006 年 4 月から 2009 年 9 月まで当院でダイアモックスを処方された方は 11 人であった。全員旅行医学会のホームページを参照され受診していた。11 名の内訳は男性 8 名、女性 3 名、平均 44.4 歳（21 歳～63 歳）。行き先は南米 5 人、チベット 3 人、国内 3 人（富士山 2 人、槍ヶ岳 1 人）であった。ダイアモックスの処方日数は原則到着前日と到着後 3 日間の合計 4 日分としているが、受診者の希望を考慮した結果、実際の処方の平均は 5.6 日であった。

当院では受診者全員に薬の服用の有無、効果の有無などアンケートをお願いし、旅行後葉書の投函を依頼しているが、そのアンケートの回収は 6 人分（55%）であった。全員が薬の効果はあったと回答していた。

#### 【結論】

3.5 年で 11 人の受診者という数はどう評価すべきかは他の地域との比較も必要であるが、ホームページの告知の効果は少なからずあると思われる。また受診者の投薬に対する満足度は高いと考えられ、今後も快適な旅行のための高山病予防を広めていく必要があると思われる。